

平成 29 年度霞ヶ浦コンシェルジュ養成講座第 2 期第 2 回 実施報告

実施日時：平成 30 年 2 月 18 日（日）13:30-15:30 場所：霞ヶ浦環境科学センター

講師：沼澤篤（霞ヶ浦環境科学センター） 受講者数：15 名

要旨：平成 30 年 10 月に開催される第 17 回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦 2018）に向け、霞ヶ浦を訪れる多くの参加者に、霞ヶ浦についてわかりやすく解説していただく“霞ヶ浦コンシェルジュ”（案内人）を養成するため、「霞ヶ浦コンシェルジュ養成講座」第 2 期第 2 回を実施しました。

解説実習に先立ち、まず講師から「世界湖沼会議の準備の一つとして、来訪される方々に霞ヶ浦についてわかりやすく解説できる方を育てていきたい」「組み立て、話法などを工夫して、気をそらさない解説をこころがける」「茨城県から第 17 回世界湖沼会議第 2 回案内書が公表されたので、熟読して、積極的に参加、発表していただきたい」などの話がありました。

前回に続き、受講生が得意とするテーマを自ら選び、他の受講者を前に、自分の言葉でわかりやすく解説、案内する形式での実習を行いました。

実習は、受講者が一人 15～20 分の持ち時間で、まず約 10～15 分間で説明し、残り約 5 分間で質問を受ける方法で行いました。発表形式は、パワーポイント、ポスター、フリップなどを自作し、説明する形のほか、たくみな話術やホワイトボードの板書で受講者をひきつける方もおられました。知識豊富な受講者が多く、熱心な解説と適切な質問が続き、互いに認識を深め合うことができました。

今回受講者が選んだテーマは、「霞ヶ浦の土木工事と環境」「霞ヶ浦のアシ刈とその活用」「帆引船のメカニズムと構成及び操作と漁」「汽水湖としての霞ヶ浦の歴史」「霞ヶ浦で絶滅が心配される鳥、チュウヒ」「農薬使用と昆虫、植物、水質汚染」「霞ヶ浦四十八津、特に浜河岸と北の津頭」でした。十分に準備された方々の発表は、世界湖沼会議の分科会などで発表していただけるほど、質、内容ともに完成度が高いものでした。



パワーポイント、フリップ、ポスターなどを使って解説実習する受講者